

講義 標準履修年次は全科目1~2年、特記科目以外は隔年開講(便宜上M1とM2に分けて記載した)			必修科目 (研究指導)
教養科目	専門科目		
		基礎科目 <small>※M1前期で重点的に履修すべき科目</small>	
M1 前期	Materials Science and Technology Overview 2: Inorganic Materials 技術英語表現法演習 技術英語表現法概論 Basic Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 1 キャリアデザイン考究 国際政治学特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界1	下記の備考1を参照のこと 電子物性工学特論2 生体機能材料工学特論 構造・機能材料工学特論2 セラミックス工学特論1 界面化学特論1 エックス線光学特論1(前期集中) 材料強度学特論 材料工学特別講義3(前期)(連携教員による集中講義、7名の教員が2回ずつ講義を開講)(毎年開講)	材料工学特別演習 1A(前期) 材料工学特別実験 1A(前期)
M1 後期	Materials Science and Technology Overview 1: Metals ウォーターサイエンス特論 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 2 知的財産特論 知財戦略特論 プロセッサアーキテクチャ特論 イノベーション・チーム・ラボ 生物科学特論 物理学から見る理学の世界2	材料物性工学特論2 無機材料化学特論1 複合材料力学特論 半導体デバイス工学特論 半導体材料工学特論 材料工学特別講義1(後期)(本学客員教授他外部講師による集中講義) 軽構造学特論 金属材料物理学特論2 有機金属化学特論 結晶材料プロセス工学特論 金属材料物理学特論1 材料工学特別講義4~12	材料工学特別演習 1B(後期) 材料工学特別実験 1B(後期)
M2 前期 備考2	Materials Science and Technology Overview 3: Polymer 現代物理学特論 科学技術研究の倫理 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の未来1 実践的リーダーシップを学ぶ	電子物性工学特論1 フォトニック材料工学特論1 構造・機能材料工学特論1 金属材料物理学特論2 界面化学特論2 セラミックス工学特論2 材料工学特別講義3(前期)(連携教員による集中講義、7名の教員が2回ずつ講義を開講)(毎年開講) フォトニック材料工学特論2 有機合成工学特論 高分子化学特論	材料工学特別演習 2A(前期) 材料工学特別実験 2A(前期)
M2 後期 備考2	Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials 計算機設計特論 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来2	材料物性工学特論1 無機材料化学特論2 半導体プロセス工学特論 環境半導体工学特論 巨視/微視固体力学特論 材料工学特別講義1(後期)(本学客員教授他外部講師による集中講義)	材料工学特別演習 2B(後期) 材料工学特別実験 2B(後期)

【修了要件】
 必修16単位、教養科目4単位以上を含めて30単位以上を修得しなければならない
【参考】 必修科目
 材料工学特別演習1A・1B, 2A・2B
 材料工学特別実験1A・1B, 2A・2B

備考1: 材料工学は物理-化学-機械系等の非常に幅広い学際的な分野を教育・研究対象としている。修士課程では、学部での基礎・専門教育に続けて、さまざまな分野の専門性をさらに高めることを目的として、特に基礎科目は設置せず、全科目1, 2年の両方で履修できる形式としている。
 備考2: M2においては講義開講時期は年度により異なることがある。

【修了後の進路】
 材料、機械、電気、化学・素材等の業種を問わない幅広い分野での、主として製造業における材料に関する高度な知識と研究能力を活かせる研究職・技術職